

“チツソ製品買わないで”

大阪・水俣病を告発する会

毛主席に手紙と資料

大阪・水俣病を告発する会は、チツソが中国に向け、硫酸、尿素など化学肥料の輸出を行なっていることから中国政府あてに「水俣病の企業責任をとらうとしないチツソの製品は買わないでほしい」

という内容の手紙を送ることになった。この手紙は二十八日、大阪を出発する「学生中国訪問団」の団員に託され、中国に届くことになっている。

大阪・水俣病を告発する会は「水俣病の企業責任をとるどころか、弱い立場にある患者を追い詰め、また患者を支援する会を押しつぶそうとするなどチツソのやり方は資本主義の残忍さの典型といつていい。そのチツソの製品を中国が輸入することは、間接的であるにせよ、チツソのやり方を是認

するものと受け取れる。中国政府はチツソの企業実態を調べて、

このため告発する会では手紙とともに水俣病に関する資料、写真などを同封した。また新潟水俣病を起した昭和電工についても告発する会では同様の手紙を中国政府に送る。あて名はともに毛沢東主席あてで、学生中国訪問団が中国政府首脳と会うさいに手渡されという。

(大阪支社)

告発する会と同じ認識に至ったら取り引きをやめてほしい」と言っ